



2023年5月31日

各位

会社名 株式会社はてな
代表者名 代表取締役社長 栗栖 義臣
(コード：3930 東証グロース)
問合せ先 コーポレート本部長 田中 慎樹
(TEL. 03-6434-1286)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年5月31日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年9月13日に公表した「2022年7月期決算短信[日本基準] (非連結)」に記載している2023年7月期の業績予想(2022年8月1日～2023年7月31日)を修正することといたしましたので、下記お知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,184	百万円 147	百万円 147	百万円 94	円 銭 31.81
今回修正予想 (B)	3,187	223	222	145	49.12
増減額 (B-A)	2	76	75	51	—
増減率 (%)	0.1%	52.1%	51.1%	54.3%	—
(ご参考) 前期実績 (2022年7月期)	3,063	324	342	240	80.03

2. 修正の理由

売上高につきましては、UGCサービス事業(注. 1)のうち、コンテンツマーケティングサービスにおいて一部の個別案件において広告・マーケティング予算が縮減されたことにより厳しい販売環境となった一方で、テクノロジーソリューションサービスの受託サービスにおいて受注活動が好調に運んでおり、また受注した大型のマンガアプリサービスの開発が順調に進行していることから、前回発表予想を上回る見込みとなっております。

一方、営業費用につきましては、人員採用が順調に推移していることを受け、業務委託などの外注費の使用が想定より少ない見込みとなっております。また、広告宣伝費において、費用対効果を

精査し、一部の出稿メニューを見直した結果、予想を下回る見込みです。更に、在宅勤務を大胆に取り入れる「フレキシブルワークスタイル制度」の恒久化に伴ってオフィス面積の調整を行って賃借料が下がったことに加え、在宅勤務下でも効率的な業務遂行を行えるようなツール類について利用料が想定より少ない見込みとなりました。以上のことから、営業費用は前回発表予想を下回る見込みとなりました。

その結果、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも前回発表予想を上回る見込みとなったため、通期業績予想を修正するものであります。

(注) 1. User Generated Content の略。インターネット上で利用者自身がテキストや画像、映像などのコンテンツを発信することができる場を提供するサービス。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上